

今年中の遊星による掩蔽

大英協會 (B.A.A.) の年鑑 Handbook に據るに、今1929年中に、遊星が恒星を掩ふ現象は下の如く、前後14回ある。(時刻は日本中央標準時)

(1) 一月9日、金星が [B. D. $-12^{\circ}6260$] 星を掩蔽する。(星は 8.6 等級)

潜入 午前7時²³分、 位置角(北より) 80° 金星の暗縁にて
出現 〃 7 29 , 〃 (〃) 230.

之れは北米大陸の東部から見えるのみ。

(2) 一月25日、金星が [B. D. $-4^{\circ}5890$] 星を掩蔽する。(星は 8.5 等級)

之れは歐洲の大部分から見える。例へば英國グリニチでは

潜入 午前3時¹⁷分、 位置角(北より) 104° 、 金星の暗縁にて
出現 〃 3 22 , 〃 (〃) 204.

(3) 二月14日、金星が [B. D. $+5^{\circ}95$] 星を掩蔽する。(星は 8.6 等級)

之れは北アメリカの一部で見える。例へばヤーキース天文臺では

潜入 午前10時²⁵分、 位置角(北より) 43° 、 金星の暗縁にて
出現 〃 10 35 , 〃 (〃) 253.

(4) 三月4日、木星が [B. D. $+12^{\circ}327$] 星に接近する。(星は 8.3 等級)

最接近時刻 午前7時²⁶分

之れは日本から濠洲までの各地で見える。日本では星が木星の北極より $5''$ 、濠洲では $3''$ だけ北に見える。

(5) 三月20日、金星が [ひつじ座15番] 星に接近する。(星は 5.6 等の肉眼星)

最接近時刻 午前6時³分

之れは歐洲北部で見える。

(6) 四月8日、火星が [B. D. $+25^{\circ}1519$] 星に接近。(星は 8.1 等数)

最接近時刻 午後10時¹²分

之れは日本支那なご東洋方面で見える。北海道では星が火星の南極より 3'', 京都では 4'', 臺灣では約 6'' だけ南にある。

- (7) 四月22日。火星が [B. D.+24°1619] 星を掩蔽する。(星は 8.3 等級)

之れは歐洲及び北部アフリカ方面で見える。例へば伊國フィレンツエ市では

潛入 午前5時⁴⁵分, 位置角(北より) 75°
出現 〃 5 49, 〃 (〃)303.

- (8) 五月5日。火星が [B. D.+23°1843] 星を掩蔽する。(星は 9.1 等級)

之れは南アフリカ方面で見えるのみ。例へばケープタウンでは

潛入 午前1時³⁹分, 位置角(北より) 90°
出現 〃 1 43, 〃 (〃)294.

- (9) 五月22日。天王星が [B. D.+2°91] 星に接近する。(星は 9.0 等級)

最接近時刻 午前1時

之れは南太平洋で好く見えるのみ。星と天王星との視距離は 3'' 乃至 4'' 濠洲でも 10'' 以内に見える。

- (10) 五月25日。火星が [かに座 B 110 番] 星に接近。(星は 7.0 等級)

最接近時刻 午後0時7分

太平洋の南部では掩蔽が見えるのであるが、メキシコ方面では此の二つの星が 5'' ほどに接近するのが見える。

- (11) 六月12日。金星が [B. D.+10°321] 星を掩蔽する。(星は約 8 等級であるが、實は之れは 8.6 等と 8.7 等との二重星である。)

之れは北アメリカの西南部のみから見える。例へばキルソン山では

潛入 午後7時⁵²分, 位置角(北より) 67°
出現 〃 8 6, 〃 (〃)264. (金星の暗縁より)

二つの星の出現は 1 分半ほどの時刻の差がある筈。

(12)七月5日. 木星が〔うし座 ω 〕星を掩蔽する. (星は 4.8 等の肉眼星)
 之れは1914年以來の珍現象であるが、見える地方は殆んど太平洋中のハワイ島に限られてゐる. 時刻は

潜入 午後11時12分, 位置角(北より) 93°

出現 翌午前 0 16, κ (κ) 247° .

但し、星の光度が大きいからリクやキルソン山天文臺あたりの大望遠鏡で観測が出来るだらう。(此の地方では日出後だけれど)

(13)八月5日. 金星が〔B. D.+21°1109〕星を掩蔽する. (星は 8.6 等級)

之れは南アメリカで見えるのみ. 例へば、アルヘンチナ國コルドバでは

潜入 午後 7時42分, 位置角(北より) 50°

出現 κ 7 47, κ (κ) 300° .

(14)十一月27日. 金星が〔てんびん座 ν 〕星に接近. (星は 5.3 等星)

之れも、南太平洋では掩蔽が見えるのだが、南米では晝間になる. 北米ローエル天文臺では午後10時30分頃、星が金星の北縁から $3''$ ほど離れて見える.

第四回汎太平洋學術會議

去る1926年(大正十五年)の秋、我が東京で開かれた第三回汎太平洋學術會議の事は當時の「天界」第69號第 533 頁あたりにも詳しく載せたものであるが、今1929年には此の會議の第四回會合が南洋オランダ領ジャバで開かれる。

今年の會議は五月16日から六月五日まで決定された。之れは嘗つて「天界」第79號第 432 頁にも報じた通り、五月9日の日食のこゝを始めから考慮した結果であつて、此の日食の観測に参加する全世界の天文學者たちを、汎太平洋會議にも参加させるつもりで、其の便宜のために決定されたものである。しかし、今までに實行委員から公表されたプログラムについて見ると、會議の中には特に天文學者の興味を呼びさうな題目が甚だ少ない。